



Nihongo Network News

1996.6.10

発行

No.

10

東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・センター気付 ☎03-3235-1171

TNVN'96 日本語ボランティア 基礎講習会がスタート!

TNVNではこれまで、『入門講習会』『基礎講習会』『育成講習会』の3種類の日本語ボランティア講習会を開講してきました。このなかの日本語ボランティア基礎講習会は、日本語ボランティアの経験が比較的浅い方々を対象に開講しているもので、第3回は'96年2月末に好評のうちに終了しました。

第4回目となる今回は5月9日(木)にスタートし、6月27日(木)までの全10回(入門講習会2回を含む)で、飯田橋の東京ボランティアセンター学習室を会場に開催。これまでの受講者の要望にお応えして、TNVNの講習会としては初めて夜間に開講することになりました。今回は多くの受講者がこれから日本語ボランティアを始めたいという方々で、毎回積極的に質問をする姿勢に日本語ボランティアへの熱意が感じられました。

基礎講習会スケジュール

5月 9日 日本語の教え方1

5月16日 日本語の教え方2

- 5月21日 日本語ボランティアの心がまえ
- 5月23日 日本語学習者の話を聞く
- 5月30日 ボランティア日本語教室の事例報告
- 6月 4日 日本語学習者の現状について
- 6月 6日 外国人相談窓口から
- 6月13日 日本語学習の支援のしかた
- 6月20日 外国人労働者の問題
- 6月27日 日本語学習の支援のしかた

TNVNで日本語ボランティア講習会をスタートした数年前と比較すると、現在では地域で自治体などが主催する日本語ボランティア養成講座なども増加しています。そのため、今後のTNVN主催による基礎講習会の開講についてはその使命を終了したと思われることもあり、次回の基礎講習会の開講は現在のところ未定です。なお、毎月1回6か月コースで開催中の入門講習会は、今後も引き続き開催の予定です。また、日本語ボランティアの経験者を対象とした育成講習会は'96年秋に第3回目を開講の予定となっています。



1回でも参加できる 相互理解講座

今回の日本語ボランティア基礎講習会は日本語教授法と異文化理解のための相互理解講座から構成されていますが、この相互理解講座に関しては単発での参加も受け付けています。下記の予定で開講されますので、関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

◆日時：6月20日(木)午後6～8時

◆テーマ：外国人労働者の問題を考える／宇田川正宏氏(江戸川ユニオン)

◆会場：東京ボランティアセンター学習室(飯田橋セントラルプラザ7F)

◆参加費：1,000円

◆問い合わせ・申し込み：林川玲子
TEL/FAX;03-3473-5088





NHKボランティアネット事務局で パソコン通信の 講習を開催

パソコン
関連の
講習会

この日の訪問のことが
インターネットの
NHKボランティアネット
ホームページにも
掲載されました。
NHKボランティアネット事務局の
みなさま、お世話になりました。

3月末から「NHKボランティアネット」
でTNVNの活動情報の提供をスタート
したことから、4月11日(木)にはNHKボラ
ンティアネット事務局でパソコン通信の
講習が開催されました。この日は、3月の
交流会の分科会「日本語ボランティア
とインターネット」に参加して講習会の
開催に賛同した会員の方々のうち5名

と事務局から2名の7名がNHKを訪問。
NHKボランティアネット事務局の藤田さ
んに、パソコン通信のアクセスの仕方や
NHKボランティアネットの概要・利用方
法などをレクチャーしていただきました。
NHKボランティアネットでは全国各地
のボランティアセンターや社会福祉協
議会、ボランティア団体など、55団体

事務局に千客萬来?

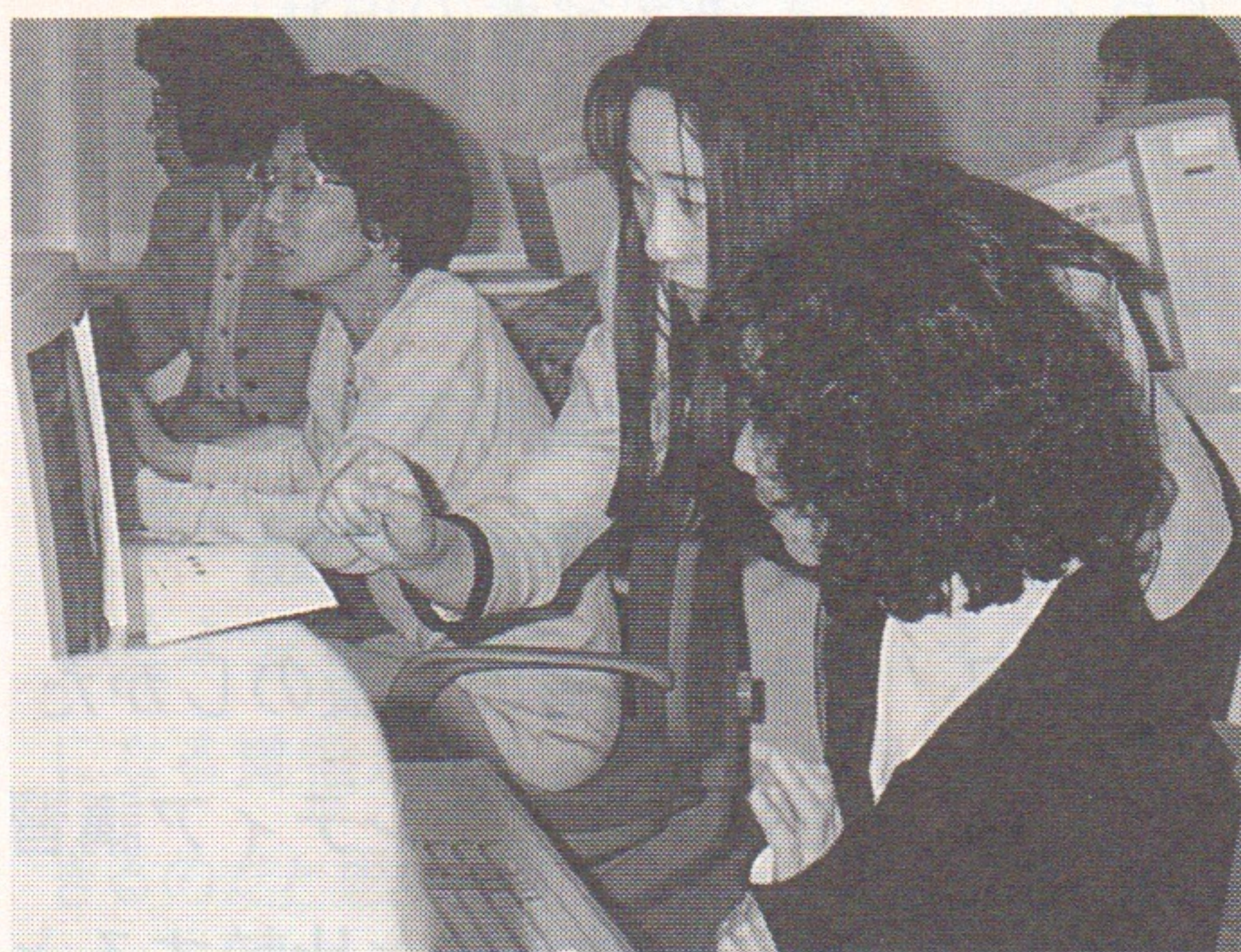


4月11日のお客さまは東京日本語ボランティアネットワークの皆さん。
ふだんは国内在住の外国人を対象とした日本語教室で活躍なさっている。
最年長の萩野信康(はぎののぶきょう)さんは今年78歳。パソコン通信はもとより、インターネットからデジタルカメラにまで、ぼんぼん質問が飛び出す勉強熱心な方でした。
もちろん、みなさん全員が好奇心旺盛で前向きな方ばかりでした。
写真左は隔月に一度(偶数月)発行している「Nihongo Network News」。
(写真をクリックすると他のスナップを表示します)

(96年5月末現在)がボランティア情報の提供をしており、毎週8,000件のアクセスがあります。TNVNでも講習会の案内やボランティア募集情報などを随時掲載していますので、ぜひアクセスして活動にお役立てください。

(株)JUSTSYSTEMで 『インターネット体験セミナー』 を開催

5月9日(木)には、「一太郎」でおなじみのパソコンソフト会社、(株)JUSTSYSTEMのご協力で『インターネット体験セミナー』が開催されました。この日は、パソコン端末が並ぶ(株)JUSTSYSTEMセミナールームで、TNVN会員12名のみなさんを同社インストラクターの鶴崎さんが指導。



同社のJustNetを利用して、実際にインターネットにアクセスしながら、「オンラ

インショッピング」「電子掲示板」「電子メール」「ネットサーフィン」などインターネットのさまざまな機能を体験しました。受講者はすでにパソコンを使っているという方から、パソコンにふれるのは初めてという方までさまざま。初めはマウスをクリックするにもとまどっていた方も、3時間のセミナー終了後にはすっかりインターネットに興味をそそられていたようでした。

これをきっかけにインターネットのさまざまな情報を活用していただけたらと期待しています。JUSTSYSTEMのみなさま、どうもありがとうございました。

一参加者からの便り

多摩市国際交流センター 金藤俊朗

インターネットの講習会ということで飛びついていたのが、TNVNの企画された4月11日のNHKボランティアネット事務局によるもの。

当日はNHKボランティアネットの紹介があり、ネットへの接続の方法などメカ的なことはもちろん、全国各地のさまざまなボランティアの活動状況をネットを通じて見せてもらうことができました。

私は、幸いにもかれこれ8年ほど前からワープロ通信の経験があることから、特別の準備も要せず帰った夜から早速NHKボランティアネットに接続して見せて貰っています。ただ見るだけでなく、情報等を送って全国に紹介することもできるし、質問・照会があれば事務局に電子メールを送って回答をもらうこともできますから、大変利用価値があると思います。

5月9日は、JUSTSYSTEMによるインターネット体験セミナー。パソコンの操作から始まり、電子掲示板や電子メールなどJUSTSYSTEMが行っているJustnetについてひととおり手ほどきを受け、ついにはインターネットにたどりついて最後は全員ニコニコ。初めはマウスの操作もぎこちなかった参加者も、終わったときはベテランのような顔つき。「電子メールの交信もやりましょう」と夢一杯で帰途に着いたことでした。

市民フェスティバル 東京Ours'96^{アワーズ}に参加します

TNVNでは、東京都庁の都民広場を会場にして開催される市民フェスティバル「東京Ours'96」のイベントに、下記の内容で参加することになりました。

このイベントに参加してくださる外国人の方(第1部に参加して日本語で意見を述べてくださる方、第2部に出演して音楽・舞踊などを披露してくださる方)を募集しています。興味がある方はぜひそれぞれの担当までご連絡ください。

日時/9月8日(日)

午後1時30分～5時15分

会場/東京都庁「都民広場」

常設ステージ(西新宿)

プログラム

●午前11～12時

ハローブリッジと日暮里の子どもたち

●午後12～1時30分

コール・コアラ

(車いすダンスとハワイアン)

●午後1時30分～3時30分

第1部「国際交流井戸端会議」

<TNVN主催>

在住外国人が東京に住んで感じたことを日本語でディスカッション。

TNVN担当:渡辺泰子

TEL:03-3721-8036

FAX:03-3721-6481

●午後3時30分～5時15分

第2部「国際交流学芸会」

<TNVN主催>

外国人が世界各地の歌や楽器演奏、舞踊、ファッションなどを披露。

TNVN担当:橋本佳子

TEL/FAX:03-3787-8221

●午後5時15分～6時15分

ビバサンバカーニバル

ビバトランスプランテーション

(臓器移植者と支援者の組織)主催

●午後6時30分～8時

居合術 高明塾本部

「日本語プラザ実験室」が ホームページを開設！ ～TNVNの情報も掲載中～

パソコンが目覚ましく進歩するなかで、教育などさまざまな分野でインターネットの情報を活用する研究が進められています。

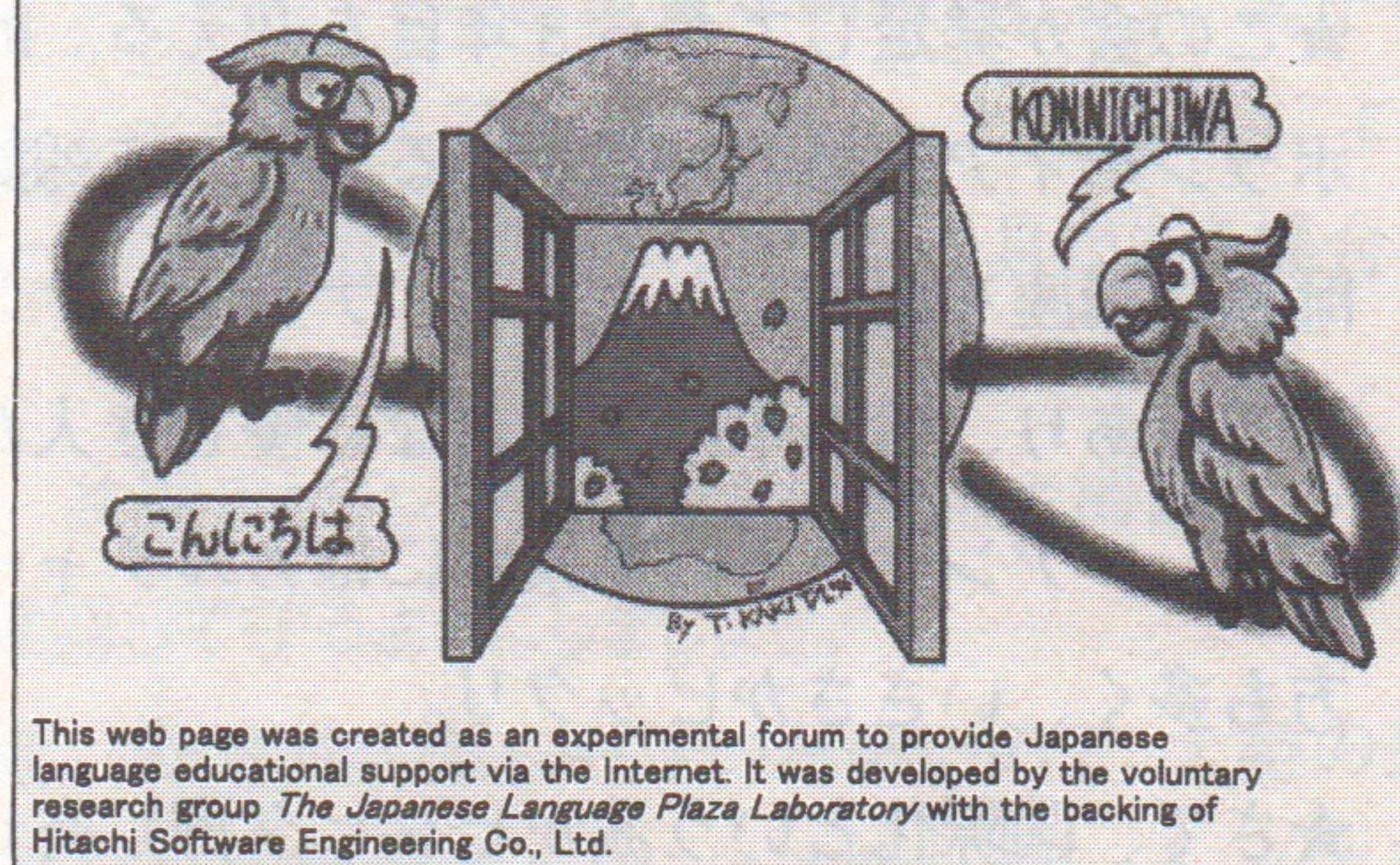
5月末には、インターネットを利用した日本語教育の在り方を研究しているグループ「日本語プラザ実験室」が、ホームページを開設しました。これは、インターネット上で日本語教育にかかわる情報の提供・交換、マルチメディア教材の共同開発・利用、インターネット上の日本語環境整備、日本語教育関係団体・

個人のネットワーク作りなど、総合的なネットワーク作りを目的とするホームページです。つまり、世界中の日本語を教えている人、学んでいる人

を支援するためのホームページで、「教材」「教え方」「学び方」「環境」「ネットワーク」などのコーナーがあります。

この「日本語プラザ」は、大学等の日本語教育機関・教材会社などの日本語教育関係者によって組織されており、TNVNからも参加しています。「ネットワーク」のページにはTNVNの活動情報や会員

ようこそ！日本語プラザへ！



団体の情報も掲載されていますので、ぜひ1度アクセスしてご利用ください。

◆アドレス:<http://www.plaza.hitachi-sk.co.jp/jpnedu/>

◆運営:ボランティア研究グループ「日本語プラザ実験室」

◆後援:

日立ソフトウェアエンジニアリング



国際化を迎えて

成増日本語サロン

代表 渡辺 博

★ヴィトンのBAGが氾濫している。銀座に出かけても、空港へ行っても見かけないことはない。何時もフシギな光景だが、何故、他人が持っているものと同じ物を持ちたがるのか、その心情が理解できない。(持っている方はお許しを乞う)さて、ここ1年位の間、ボランティアの気運が高まり、電話が入ってくる。「海外にいてエー、英語ができるのでエー、ボランティアがしたいんです」もしかしたら、この人もヴィトン派かなと一瞬ドキッとす。そう、さようにしてヴィトン同様、ボランティアばやりなのである。日本人は同調性の強い人種であることは間違いなく、他と協調していくところが美德であるらしい。

★この会が発足してから3年目を迎える。昨年の11月、ボランティア組織の拡充を図るべく、広報誌に日本語教師養成講座を掲載したところ、ナント、ナント60名もの応募があり、世の中にはこんなに優しき人が多いとは…しかし、アンケートの結果中にはカルチャー講座気分の方も多く、いささかビックリ。

★さて、国際化という波がヒタヒタ押し寄せている。うちの会として、今年はチョット方向を変え、次のことを新しく始めたいと考えている。「小学校から高校生までを対象に外国人との交流の場を作っていく」即ち、ほんとうに国際化を必要とするのは、これから社会人となる彼ら自身ではなかろうか。私たちボランティアは、幸い多くの外国人と接触し、交流を重ねている。若い人たちに外国人との交流の場を提供し、国際化への道しるべを作れるのは私たちの特権であろうと考えている。

寺子屋教室で学習者を支援

八王子にほんごの会

代表 小川 栄

3年半前、公民館の「ボランティア日本語講師養成講座」修了者40名でスタート。ゼロから模索しながら、いろいろな方に助けていただき、現在支援者140名、学習者80～90名に発展することができました。

支援者は19歳から70歳と層が厚く、そのうち男性は23%で、大学生は6%(学園都市にしては多くありませんが)です。

学習者はアジア諸国と南米からの日系人が大半で、これまで25か国の人々と支援交流してきました。内訳は、会社員、従業員、店員、職人、英語教師、学生、主婦などさまざまですが、最近は日本人と結婚している方が増えています。

広大な八王子で、どうすれば地域に根ざした活動ができるか、学習者が楽しく、学び易くなるかと工夫を重ねた結果、現在はマンツーマン対応を基本に、市内に6カ所、延べ11の「寺子屋教室」を運営しています。なかには、日本事情を討論、学習しているグループもありますし、さまざまな理由で寺子屋に参加できない人のために個人宅や喫茶店で活動している会員もいます。

一番の苦労はきめ細かなマッチングですが、昨年はこれに公共施設の有料化という難問が重なり、市への対応や資金集めにエネルギーを注がねばなりませんでした。外国の方々と互いに学びあうことのできるご縁を大切にしながら、力を寄せあって息長く活動していきたいと思っています。

(文責/木全恵子)

ボランティア・ ニューカマーのみなさま

アクセス心理教育研究所 所長

原 裕視



ボランティア元年とも言われた昨年は、「大量のボランティアが、自分がボランティアであるという自覚のもとに活動したという日本では初めてのこと」であったようです。私の所属する日本臨床心理士会や心理臨床学会の仲間の多くもまたボランティアとしての活動に参加しました。その経験を通じて、これまでも臨床家の間では指摘されていたことが、はっきりと確認されたように思います。

それは、ボランティア活動というのは、「心のやさしい、りっぱな」人や「時間的、経済的に余裕のある」人が、「人助けのために」「よいおこないをする」というわけではないということです。もちろんそういう方もいらっしゃることは否定しませんが。一方で、既成の社会秩序の中でいどころの無い、不全感を持っていた人たちが解放され、ここぞとばかり生き生きと活躍した面もありました。その結果、とくに心のケアの面では、残念ながら善意の押し売りの行為と専門性の欠如による二次的被害までも指摘されました。

その後みられた多くの人に共通する発言は、「このボランティアとしての活動は、自分の人生でこれまで経験したことのない充実した時間であった」「エイヤッで飛び込んだボランティア活動が、自分の生き甲斐になるとは……」というものでした。ま

た被災者の方の「震災のあと茫然自失の状態だったのに、とにかくボランティアとして動き出すことで、何とか自分を取り戻せるようになった」という発言でもありました。したがってボランティアをするというのは、「人のために何かの手助けをする」というよりも、「自分にとって、大きな喜びであり、生きている自分、生かされている自分を感じることができる」という「意味」の方が大きいのではないかということになるのです。

私はそれでよいのだと思います。この指摘がボランティア活動の価値を低めることには成らないと思います。なにも自分を犠牲にして立派な人を演じる必要はないし、充実感を味わえないことを無理してやることは無いのです。思いっきり自分のためにやれば良いし、充実感、達成感、生きがいはこの活動に求めればいいのです。「自己実現」のためにやったっていいのです。ただ、相手もまた同じように感じ、生きられるためには何が必要か一生懸命考え、確かめ、関わり合って、お返しをすればいいのではないのでしょうか。

(協力会員)

第二回『ネットワークの会』が 開催されました



日本語ボランティアに関するさまざまな問題について話し合い、自由に情報交換をするための場として3月からスタートした『ネットワークの会』の第二回が5月30日(木)に開催されました。今回は、5月9日から開講中の「日本語ボランティア基礎講習会」と合同での開催だったため、基礎講習会の受講者もまじえて多数の参加者でにぎわいました。

第二回のテーマはボランティア日本語教室の事例報告で、TNVN会員団体の「フレンド日本語教室」(板橋区)の大野京子さんと、「中国帰国

者の会」(文京区)の長野浩久さんから活動について報告。この事例報告をきっかけに各グループでの活動状況について活発な話し合いがあり、これから日本語ボランティアをしたいという基礎講習会の受講者の方々にとっても、おおいに参考になる有意義なディスカッションとなったようです。

次回の『ネットワークの会』の開催は7月25日(木)の予定です。TNVN会員もそうでない方も気軽に参加して、人や情報のネットワークを拡大してください。

Z

O

O

M

I

N

日本語ボランティアレポート

東京都都民相談課 外国人相談窓口

Foreign Residents' Advisory Center

〒163-01 東京都新宿区西新宿2-8-1

外国人にも住みやすい東京をめざして
暮らしの困りごとにアドバイス

近年、加速度的に国際化がすすむ東京には、さまざまな国の人々が生活しています。この人たちは、言語、文化、習慣、社会制度の違いから、東京での生活に不自由を感じる場面も多いことでしょう。そんなときの相談窓口のひとつに、東京都情報連絡室都民相談課の外国人相談窓口があります。日本の社会通念や慣習等を知らないためにおこる日本人との摩擦や生活上の問題に対し、適切なアドバイスや情報を提供しています。

今回は、新宿副都心の新名所となっている東京都庁第一庁舎に情報連絡室 広報広聴部の外国人相談係長渡久地潔さんをお訪ねし、お話をうかがいました。

外国人住民の要望が
相談窓口開設のきっかけに

この外国人相談窓口は1988年7月に、都道府県レベルでは初めての英語による外国人のための相談窓口として誕生。この前年に開催された『知事と語る会(タウンミーティング)』での外国人住民からの要望<「同じ都民なのに、言葉の問題で情報が伝わらない」「都民として納税しているのだから外国人のためにも役立てて欲しい」など>が反映された結果でもあります。

開設当初は英語のみで週2回、相談員5人からのスタートでしたが、その後、徐々に相談体制の充実がはかられ、現在では英語、中国語、仏語、ハングル、スペイン語の5か国語で週5日間、電話の他にも面談や手紙での相談に対応しています。内容は日常生活の小さな質問から、入国、出国、就労、医療、住宅の問題、交通事故の賠償問題、結婚、離婚のトラブルなど専門知識を要する相談まで、あらゆる分野にわたっています。

'92年の相談件数は年間で7,941件、1日平均32件とピークに達しました。その後、日本への外国人入国者の減少にともない、'95年には年間7,219件、1日平均29件と、やや減少に転じました。しかし、1件あたりの相談時間が長くなっていることから、相談内容が複雑化している傾向がうかがえます。

文化や習慣の違いを理解して
問題の解決をお手伝い

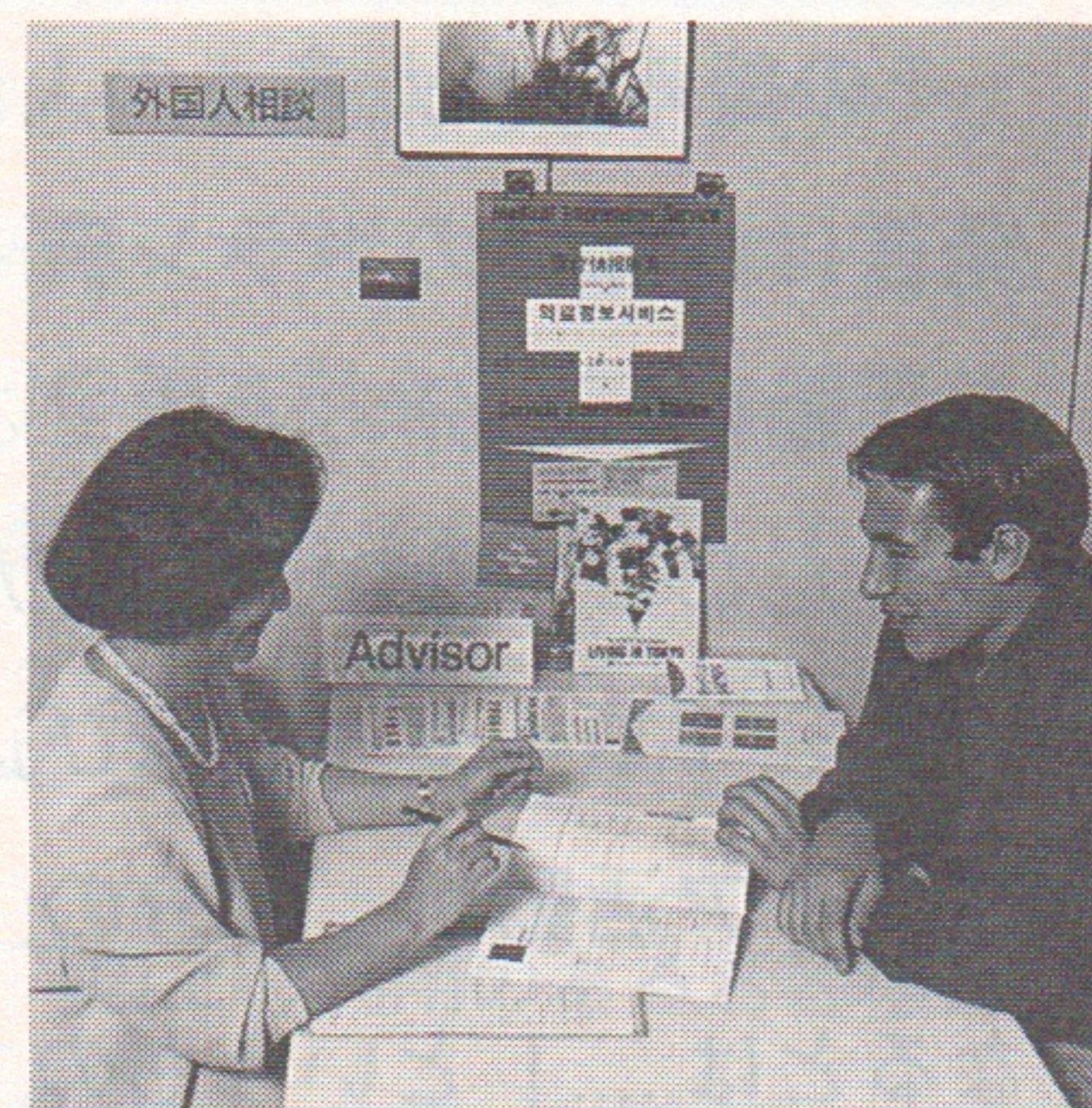
相談員のみなさんは語学検定1級以上という基準を満たし、外国生活での経験などの審査を経て選ばれています。国情や習慣、生活意識の違いを理解し、外国人の立場で話を聞くことができ、かつ日本の制度や機構に関する豊富な知識を持っていることが要求されます。外国人からの相談にはその都度正しい情報を提供し、必要に応じて弁護士などの専門家の意見を聞いてアドバイス。コミュニケーションの手段として外国語が使えることは必須条件ですが、聞いて伝えるだけの事務的な仕事ではなく、相手の疑問の核心を感知する能力も求められます。ここは日本だからと、日本の文化、習慣を押しつけるのではなく、互いの文化や習慣の違いを理解した上で接するところから、ほんとうの意味の国際化が始まるのではということでした。

●相談あれこれ..

*相撲を見物にはどんな服装で行けばいいか?(TVでは紋付き袴で正装した人を見かけるが..)

*公立学校へ子どもを通わせたいが..?

*公営住宅の募集



Z

O

O

M

I

N

があるがオーバースティでも外国人登録証があれば応募できますか？

*バイクで事故にあったが加害者から医療費を払ってもらえない

*失踪10か月の夫と離婚して帰国したい。ビザの期限は残り10日しかない。



でも、両方の言い分がわかりすぎてしまい、簡単にどちらが悪いなどとは言えなくなったというお話に納得しました。

相談の向こう側に見える

外国人住民の暮らしの現状

訪問したのは月曜日の午後。英語担当の相談員高橋さん、田中さんに、現場の様子をお聞きすることができました。相談はほぼえましいものから深刻なものまで幅広く、社会での外国人の生活の縮図を見るようで、住宅問題ひとつをとっても「家賃100万円の話をしていたら、次は家賃1万円の話だったり」。用意周到に調査して事前に相談してくる人から、問題がこじれにこじれてしまってから相談と、相談者も千差万別です。

少しでも解決の糸口になればと対応していても、時として相談者は自分にとって都合のよい情報を得るためだけに、あちこちの相談窓口に電話をかけていることもあるそうです。ですから、あくまでも「あなたの言うことがほんとうなら…」という前提で答えるしかありません。難しいトラブルほどその後問題が解決したかどうか気になりますが、便りのないのがよい便り。解決できないときには、何回でも電話があることが多いといいます。

さまざまな考えを認め、相手の身になって話を聞くことができ、かつ日本の習慣、地域社会のルール、法制度や機構の幅広い知識が要求されるため、相談員としては日頃から情報の収集と自己研鑽に努めているそうです。ニュースなどで外国人のトラブルを目にし

現場で聞いた相談者の声を 行政の見直しに役立てたい

行政の中でできることには自ずと限界があるため、さまざまな分野の関係機関との連携を大切にして、相談者への対応に役立てています。TNVNの『ボランティア日本語教室ガイド』や“日本語ネットワークニュース”の情報も、現場での対応に活用していただいているということでした。

こうして外国人からの相談にアドバイスをして問題が解決しても、それで終わりではありません。逆に、行政の制度の見直し、改革につながる具体的な提案を、外国人の代弁者として行政側に伝えることも大切な仕事の一つです。「相談者の生の声や実際に起こっている問題をいかに行政に反映させるかが重要な課題」と渡久地さん。「外国人住民にとって問題になることは、日本人にとっても問題であるはず」という問題意識が、魅力ある住みよい東京づくりにもつながるのではないのでしょうか。現在の対応をさらに充実させて、相談者にとって相談しやすい体制を作りたいと、今後の抱負を語ってくださいました。

(写真提供／東京都情報連絡室都民相談課)

第3回

学ぶ側に立った日本語を

「正しい日本語」とは何か

日本大学講師

福田 知行

日本語の教科書を見ていると不思議に思うことがよくあります。たとえば、ある教科書では衣服の着脱を表す動詞として、上半身は「着る／脱ぐ」（ただし、帽子は「かぶる／取る」）、下半身は「はく／脱ぐ」がでています。これだけでも覚えるのが大変なのに、さらに「めがねをかける／はずす」「ネクタイを締める／取る」「手袋をはめる／取る」「指輪をはめる／抜く」「イヤリングをつける／取る」なども出てくるのです。身につけるものはすべてput onとtake offです。まず英語に比べると、これほど複雑なものはありません。実は、衣服・履物・帽子以外のものについてはすべて「する／取る」を使うことができるのです。教科書でこうした簡単な表現を出さない理由として、「より正しい」日本語を提示する、つまり少しでも過ぎていたり正統でないものは提示しないというようなことが考えられますが、このよ

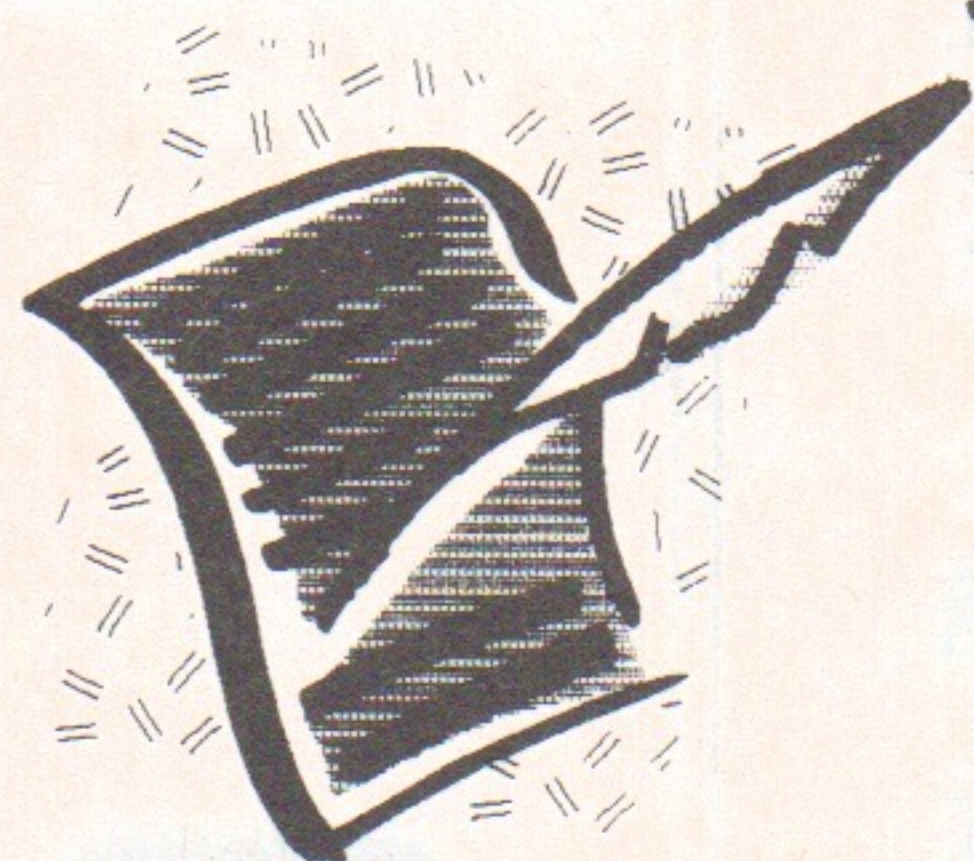


うな場合はまず、自分が使いたい必要な表現（使用語彙）と聞いてわかればよい表現（理解語彙）を区別しておいたほうがいいのではないのでしょうか。そうすれば学ぶ側が自分の判断でそのときの必要性に応じて選択できるからです。

同じような例ですが、日本語教科書で形容詞の丁寧体の否定形がどのように提示されているかを調べるとおもしろいことに気がつきます。ほとんどの教科書が「高いです」の否定形を「高くないです」とし、「高くありません」は出していません。これは学習者の負担を考えているからだと思われます（「高くありません」のほうが不規則性が高い）が、私などは「高くないです」よりも「高くありません」のほうが「より正しい」という感じがしますし、日常的にも改まった場面では「高くありません」を聞く可能性は高いと思われますので、少なくとも理解語彙として提示しておくべきではないでしょうか。

KDD が提供する

暮らしに役立つ 情報通信関連サービス



KDD国際電信電話では、情報通信に関連したさまざまなサービスを提供しています。日本で生活をする外国人や海外にでかけることの多い方など、国際電話を利用する機会の多い方に役立つサービスです。上手に活用して、暮らしに役立ててください。

国際電話の24h
問い合わせ電話
0057

国際電話のかけ方や世界各国の電話番号案内、請求書に関する問い合わせ、割引サービスの案内など、国際電話に関するさ

まざまな問い合わせに24時間体制で対応しています。

◆お気軽に局番なしの0057へどうぞ。

世界での携帯電話
貸出サービス

モバイルエクスプレス

KDDグループの(株)ハローKDDが提供するヨーロッパ、アジア、アメリカ等でご利用いただける携帯電話の貸出しサービス。成田国際空港でお渡しします。

◆海外滞在中に常に連絡を取りたい方、宿泊施設の移動が多い方におすすめします。

レンタル電話

ハローフォン

外国人就労者や留学生のためにKDDグループの(株)ハローKDDが貸し出す国際レンタル電話です。

◆比較的短期に外国人を雇用したり、受け入れる方等におすすめです。

国際ファクシミリ
通信サービス

FAXサーブ

KDDグループの(株)KDDテレサーブが提供する国際ファクシミリ通信サービス。月額2,000円の基本料金で割安な国際ファクシミリ通信サービスをご利用いただけ、通常のファクシミリと比べ20～40%割安です。

◆月額3万円以上の利用のあるお客様に適しています。

外国人のための 生活ケア講座 不動産の賃貸②

日本で生活する外国人にとって住まいの問題は、最も困難な問題のひとつです。外国人を対象とした賃貸物件がなかなか見つからない現状では、そのなかから条件に合った物件を探すことは至難の技と言えるでしょう。

また、無事に住居を見つけ契約をすませることができても、引越して生活を始めた後でさまざまなトラブルが発生するケースも少なくないようです。これは、住まいや生活習慣の違いからおこることが多いのではないのでしょうか。入居の際には、住居やその付帯設備、そこでの住み方についても、きちんと説明しておくことが重要です。

今回は賃貸物件の探し方や契約の際に必要な用語について解説しましたが、今回は賃貸住宅を探すときに知っておきたい住まいの基礎知識や、そこでの生活に必要な住み方のポイントをまとめてみました。

住まいのマニュアル

●**床・畳** 日本では玄関で靴を脱いで、部屋の中にあがります。畳や床に直接座ったり、布団をしいたりするので、絶対に靴のままあがってはいけません。とくに畳は水や重さに弱いので注意しましょう。

●**壁・内装** 住まいの模様替えは通常禁止されているので、壁紙の張り替えやペンキの塗り替えをしたり、釘などで壁にキズをつけてはいけません。

●**押し入れ** 押入は本来布団などを収納しておくためのスペースなので、重い荷物の収納には適していません。とくに上段には置かないように。

●**ふすまと障子** ふすまや障子は日本の伝統的な間仕切りです。どちらも木枠に紙を貼ってあるものなので、乱暴に扱っていると壊れることもあるので注意しましょう。

●**浴室** お風呂はガスで沸かすことが多いですが、使用法をよくチェックして安全な使用を心がけましょう。日本では複数が同じお湯にはいるので、最初に洗い場で身体をきれいに洗ってから浴槽につかり、浴槽の中で洗うことはしません。

●**トイレ** トイレの壁や床に水をまき散らさないよう気をつけましょう。ティッシュペーパーなどトイレットペーパー以外のものを流すと配水管がつまる原因になるので注意。

●**キッチン** ガス台は安全に使用し、使わないときには元栓を閉めます。油を多く使う場合は使用後にレンジまわりをきれいにしましょう。

住み方の基本ルール

●**部屋の改造** 住まいの改築や改造は原則として禁止されているので、勝手に釘をうったり、壁に穴をあけたりしてはいけません。住居を明け渡すときには、借りたときと同じ状態にして返すのが前提です。

●**居住人数** 契約時には居住者の人数が確認されるので、勝手に同居人をそれ以上追加してはいけません。

●**ゴミの出し方** ゴミを収集する曜日、収集場所、燃えるゴミと燃えないゴミの分別方法、粗大ゴミの出し方などは地域によって違います。きちんと調べて、ルールを守りましょう。前の晩からゴミを出したりしないように。

●**電気器具・ガス器具** 安全のためにガス器具や電気器具は使用法を守って使いましょう。電気は住まいの電気容量(アンペア数)によって使用できる電力量が制限されます。勝手にブレーカーやヒューズを変えてはいけません。また、住宅によっては石油ストーブなど使用が禁止されている器具がある場合もあります。

●**共用設備** 共同のトイレや通路などの利用や掃除は、ルールをきちんと確認して守るようにしましょう。

●**来客や騒音** 防音性の低い住まいが多いので、大勢の来客時や深夜のTV・楽器演奏などには注意しましょう。水を流す音も大きく響くので、深夜の入浴や洗濯も避けましょう。

●**解約時の敷金** 敷金は解約時には無利子で返ってきますが、必ずしも全額戻ってくるとは限りません。部屋に補修が必要な場合は、補修費の分を差し引いた金額が払い戻されます。

(資料協力/板橋区役所、東京都宅建物取引業協会豊島区支部)

NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア 入門講習会、開催中

『日本語ボランティア入門講習会』は第2期を開催中です。7月は「日本語をどのように教えるか」、8月は「日本語を教える上での問題点」をテーマに、午後と夜間それぞれ1回ずつ開催します。あわせて日本語ボランティアに関する相談もお受けしていますので、お気軽にご参加ください。

◆日時

7月9日(火) 入門講座:午後2～4時
相談窓口:午後4～5時

7月23日(火) 入門講座:午後6～8時

相談窓口:午後8～9時

8月6日(火) 入門講座:午後2～4時

相談窓口:午後4～5時

8月20日(火) 入門講座:午後6～8時

相談窓口:午後8～9時

◆場所/東京都生涯学習情報センター
(JR/地下鉄 有楽町駅下車 徒歩3分)

◆参加費/入門講座:600円

相談窓口:無料

◆全6回参加された方には修了証をさしあげています。

「NHKボランティアネット」 への情報掲載はこちらまで

TNVNが活動情報を掲載しているパソコン通信ネットワーク『NHKボランティアネット』では、パソコン通信で全国のボランティア団体のイベント情報・募集情報をとりだせ、通常の電話料金だけ(情報料は無料)でアクセスできます。

<アクセス方法>

アクセス電話番号 03-3375-1072

1 上記の電話番号にアクセスし、接続されたらID番号を聞いてくるので、半角で「NVN20000」と入力する。

2 パスワードは不要なので、returnキー(または改行キー)を押す。

<インターネットのホームページ>

アドレス <http://www.nhk.or.jp/nhkvnet>

TNVN会員団体で、ボランティア募集・イベント参加者募集などの情報の掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

★担当:前田恭子

TEL/FAX:03-3412-6711

E-MAIL:QYF06475@niftyserve.or.jp

2つの新しい「研究会」が スタートします

TNVN事務局へは日本語ボランティアに関するさまざまな依頼や相談がありますが、これまでの要請から「高校留学生のための日本語学習支援研究会」と「視覚障害者のための日本語学習支援研究会」を新たにスタートすることを検討しています。これらの研究会の活動に関心のある方は、担当者までご連絡ください。

★高校留学生のための

日本語学習支援研究会

担当:大野京子

TEL/FAX:03-3959-1996

★視覚障害者のための

日本語学習支援研究会

担当:中田紀子

TEL/FAX:0423-72-2236

TNVN事務局の連絡先

TNVNへのお問い合わせ・お申し込み等は、下記までなるべく郵便またはFAXでお願いいたします。

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティアセンター気付

「ボランティア 日本語教室ガイド」の アンケートにご協力を

『ボランティア日本語教室ガイド』のためのアンケート(黄色の用紙)、および『パソコン通信での情報公開に関するアンケート』(白い用紙)をまだ提出していない団体の方は、至急ご返送ください。新年度になり変更等も多いと思われますので、最新の情報を掲載するためにもご協力お願いします。また、次回発行する『ボランティア日本語教室ガイド』には、TNVN会員団体以外の活動情報も合わせて掲載する予定ですので、まだTNVN会員になっていない日本語ボランティア団体のかた、活動団体について情報をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。事務局よりアンケートをお願いしたいと考えています。

「市民による民主的な コミュニケーション作り 研究会」から

「市民による民主的なコミュニケーション作り研究会」では、市民活動としての日本語ボランティアに関するさまざまな問題をテーマに、「対等なコミュニケーション」という視点からディスカッションをしています。

昨年10月のスタートから、これまで毎月1回のペースで話し合いをもち、第8回は6月7日(金)に開催しました。次回は7月前半に開催の予定ですので、関心のある方はぜひご参加ください。

★連絡先:福田知行

TEL/FAX:03-3416-8834

〒157 東京都世田谷区喜多見4-28-21

東京日本語

ボランティア・ネットワーク

TEL:03-3235-1171

(呼出し/月曜のみ)

FAX:03-3235-0050



東京都外国人相談窓口のご案内

東京都では外国人住民の方のための電話相談窓口を開設。日常生活のなかでのトラブルや困ったことなどの相談にアドバイスをしています。相談は通常電話ですが、必要に応じて面談での相談も受けています。

◆相談日:毎週月曜日～金曜日(祝日は除く)

◆相談時間:午前9時30分～12時、
午後1時～4時

◆相談言語:

英語(月曜～金曜日)TEL;03-5320-7744
フランス語(木曜日)TEL;03-5320-7755
中国語(火曜・金曜日)

TEL;03-5320-7766

ハングル(水曜日) TEL;03-5320-7700

スペイン語(木曜日)TEL;03-5320-7730

◆相談場所:東京都庁第1本庁舎3階
都民相談課「外国人相談」

〒163-01 東京都新宿区西新宿2-8-1

「合唱ミュージカル VIVA TAMA」へご招待

音楽活動を通じて国際交流をしているTCT(東京コーラスシアター)では、公演「合唱ミュージカル VIVA TAMA」を開催。一般の入場料は1,000円ですが、今回とくに200名を無料でご招待します。

◆日時:7月6日(土)

午後1時30分開場、午後2時開演

◆開場:ルミエール府中市民会館

アメリカでのボランティア・アシスタントを募集

アメリカ、オレゴン州Eugene市の公立イマージョン・スクールでは、日本人のボランティア・アシスタントを募集しています。関心のある方は下記まで詳細をお問い合わせください。

◆期間:毎年9月～翌年6月までの

1スクールイヤー

◆応募資格:特になし

◆費用:渡航費・連絡費・海外旅行保険料などは自己負担

ほかに約15万円程度(ビザ取得のために英語学校で1か月ほど研修を受ける費用)

◆滞在:ホームステイ先を紹介(無料)

◆問い合わせ:フレンド日本語教室

大野京子

〒173 東京都板橋区大山西町7-8

TEL/FAX;03-3959-1996

中国帰国者の会でボランティアを募集

「中国帰国者の会」では、日本語ボランティア・生活支援ボランティアを募集しています。日本語教室は、後楽園・板橋・九段下・三鷹などで開いていますが、教室によって活動の曜日や時間が違いますので、詳細は下記までお問い合わせください。

また、帰国者問題に関心がおありで、会員(年会費6,000円)になってくださる方も募集しています。

◆問い合わせ:〒112 東京都文京区春日
2-23-11 アネックスビルB1
TEL/FAX:03-3815-2954

木・土・日曜以外の10時～16時にご連絡ください。

あすかホール

◆申し込み方法:申込用紙または官製はがきに、入場希望者氏名(3名まで)と招待券の送付先住所・氏名・電話番号を記入の上、6月20日までに下記まで郵送。

◆申し込み・問い合わせ:TCT事務局
〒206 多摩市豊ヶ丘2-6-4-203

中川秀子

TNVN事務局 スタッフを募集!

TNVNの事務局活動は、毎週月曜日(午前10時～午後4時)に東京ボランティアセンターで行っています。事務局での活動にご協力いただけるボランティアの方を募集しています。とくに、原則として毎月第1月曜日は郵便物の発送作業があるため、これをお手伝いいただける方はご連絡をお願いします。また、在宅でパソコン入力をお願いできる方(できればMAC使用)も、ご連絡をお待ちしています。

◆問い合わせ:林川玲子

TEL/FAX;03-3473-5088



東京ボランティアセンター
「夏!体験ボランティア」係

BULLETIN BOARD



◆NHKボランティアネット事務局様

パソコン通信の講習を開催していただきました。

◆(株)JUSTSYSTEM様

「インターネット体験セミナー」を開催していただきました。

◆東京都外国人相談窓口様

快く取材に応じていただきました。

◆KDD 国際電信電話(株)様

サポートプログラムによる支援金、ニュースレターの印刷にご協力いただきました。

メディアに見る TNVN情報

●公明新聞4月18日付／日本語ボランティア入門、基礎講習会の紹介

●『東京あわ—ず瓦版創刊号』

東京Ours'運営事務局発行／日本語ボランティア基礎講習会の紹介

●NHK教育TV『週刊ボランティア』

5月17日OA／日本語ボランティア入門講習会の紹介

●NHK教育TV『週刊ボランティア』

5月24日OA／TNVNから2名がスタジオ収録に参加

新入会員のご紹介

Welcome!!

★正会員(団体)

清瀬市国際交流会日本語教室(清瀬市)

浦安市国際交流協会(浦安市)

たのしい日本語(江東区)

ピナット日本語教室(三鷹市)

★協力会員(個人)

三枝利香、大作今日子、権宅煥、小舘知佐子、

迫田けい子、荒野綾子

★賛助会員:イカロス出版(株)

(敬称略)

'96年6月1日現在の会員数は、正会員80団体、協力会員126名、賛助会員9です。

事務局DIARY

最近事務局にくる相談の中でとくに目立つのは、「日本語教師養成講座で勉強したが、教えてみたいので、ボランティア日本語教室を紹介してほしい」というものです。「それなら知識のあるボランティアに来てほしいというところがありますから・・・」と、中国帰国者の多い教室やフィリピン女性が多いグループなどを紹介します。しかしその後、様子を聞いてみると、一回見に来てだけで音沙汰がないということがよくあるのです。

養成講座を修了しても、たとえ日本語教師検定試験に合格していても、日本語教師の仕事を見つけるのは非常に難しい昨今、ボランティアで日本語を教える経験をしようとするのは決して悪いこととは言えません。教える経験を積まなければ良い日本語教師になれないのですから・・・。しかし、外国人イコール西洋人と思っている人に日本語教師は務まるでしょうか。日本語を勉強している外国人の大部分は東洋人なのです。

また、午前はだめ、夜はだめとか、個人レッスンよりクラス形式のところまで教えたなど、勝手な条件をつけてくる人もいますが、ほんとうにやる気があるのでしょうか。日本語が話せないため苦労している人たちを支援し

たいということ殊勝なのですが、自分の条件に合う人が現れれば支援したいというのでは、大海に針を探すようなもので、ほとんど実現しないでしょう。教室を確保し、外国人を並べて、さあどうぞ教えに来て下さいというボランティアグループはありません。だれかが会場の抽選のために半日費やし、だれかが日本語学習者(外国人)に自分たちの活動を伝えようと努力しているのです。そのだれかになる覚悟がある人だけがボランティアをできるのだと思います。といってもそんな人たちを見放すわけにもいかないし、一つの方法として、自分で(グループなら都合が良いですが)ボランティアグループを作ることを勧めています。一から作る喜びを味わってほしいと思います。もちろん忍耐も味わうでしょうけど。

林川 玲子(TNVN事務局長)

編集後記

●新緑のさわやかな季節になりましたが、もうすぐ梅雨。ジメジメ、ムシムシと悪いイメージでかわいそうだけど、とても必要な雨。私にとっても大切な雨!晴耕雨読、少しは家に落ちつかなくては・・・。

@kubo..

●仕事とボランティアで必要に迫られて、ワープロからパソコンにスイッチ。原稿作成はもちろん、e-mailやフォーラムなど、私の世界を拡げてくれました。でも、未知の世界はまだ広そう・・・。

● KYOKO

●27年目にして、初の社会人。ようやく1ヵ月が過ぎようという時、財布を無くしてしまった・・・。しかし、神様は知っている、私が悪いこともせず生きてきたことを。財布も戻り、電車賃もあるので、またボラセンに通います。

● (パーラー)

発行人／中田紀子 編集人／前田恭子

レイアウト／鶴田環恵

T N V N と は

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成

されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由している外国人などを隣人として支援しています。

